

# 博物館職員を対象とした研修事業

## 学芸員等在外派遣研修

平成18年度予算額	13百万円
平成19年度予定額	13百万円

### 1 事業の趣旨

博物館活動の一層の充実を図るため、博物館等に勤務する学芸員等専門職員を長期間海外の博物館に派遣し、専門的な知識・技術を習得する研修機会を提供する。

### 2 事業の内容

- ① 主催者 文部科学省
- ② 対象者 次の要件を満たす者とする。
  - ・博物館法で規定する登録博物館または博物館相当施設に勤務する学芸員等専門職員で、原則として勤務経験が6年以上であること。(長期派遣者の場合のみ)
  - ・研修成果が地域の学芸員等専門職員の研修等において有効に活用されることが期待されること。
  - ・外国での研修を受けるために必要な語学力を有すること。
  - ・外国の博物館の受入の保証があること。
  - ・心身ともに健全であること。
- ③ 経費 「国家公務員等の旅費に関する法律」等に基づき、往復の航空賃等、日当及び宿泊料、支度料を文部科学省が支給する。
- ④ 派遣人員 6名程度
- ⑤ 派遣期間 原則として短期派遣1ヶ月程度、長期派遣3ヶ月以上
- ⑥ 派遣先 受入先の施設は、派遣者において確保すること。
- ⑦ 派遣者の決定 都道府県教育委員会並びに国が所管する博物館相当施設及びそれを有する機関(独立行政法人を含む)の長の推薦に基づき文部科学省が決定する。
- ⑧ 研修テーマ例
  - ・博物館資料の修復・保存に関する高度で先進的な技術の習得
  - ・博物館資料のデータベース化に関する先進的な技法の習得
  - ・先進的な展示、教育普及事業に関する調査 など

(参考)平成18年度派遣者

派遣者の所属博物館	派遣研修先、研修テーマ
東京国立近代美術館	(フィンランド) フィンランド国立美術館キアズマ現代美術館 【研修テーマ】(長期派遣120日) メディア・アートの越境的な展示手法について
栃木県立博物館	(オランダ) アムステルダム大学動物学博物館 【研修テーマ】(長期派遣131日) 学術研究及び環境教育を目的とした自然史系 レファレンスコレクションの構築と利用
九州国立博物館	(イギリス) 大英図書館、大英博物館 他 【研修テーマ】(長期派遣105日) 英国の博物館等における文化財の保存、修復、活用 について
海の中道海洋生態科学館	(アメリカ) モートマリン研究所・水族館 【研修テーマ】(短期派遣26日) 疾病イルカの飼育技術・検査技術・診断技術・飼育 管理技術等について
東京国立博物館	(アメリカ) デンバー美術館 他 【研修テーマ】(短期派遣37日) 博物館教育における評価と改善
国立科学博物館	(オーストラリア) オーストラリアミュージアム 【研修テーマ】(短期派遣32日) 博物館における効果的な広報ならびに広報イベント の実施について